

会報

第12号

平成28年10月1日発行



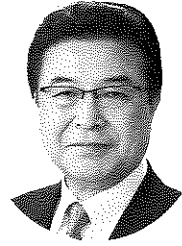
浅川ダム

浅川ダム底上流側

上の写真は平成 27 年 11 月 13 日視察研修の時の写真です。飯綱山に向かうループ橋のすぐ上流側一つ目のトンネルと二つ目のトンネルの間の左側にあります。このダムは、当時の田中知事の「脱ダム」宣言で本体工事契約が解除、また断層でも採めたダムです。しかし、浅川流域住民の生命・財産を水害から守るため、治水対策が急務となっていました。いろいろな面から検討された結果、ダムより下流域の河川改修と治水専用の穴あきダムの組み合わせが最適と結論され、平成 22 年 5 月に本体工事が着工され、ダム本体のコンクリート打設は平成 26 年 7 月に完了。平成 27 年度は基礎処理、地滑り対策、管理設備工等を進め、年末までに 85 パーセントの進捗率となっています。

沢山川水害対策促進期成同盟会の

会長就任に当たって



沢山川水害対策促進期成同盟会 会長 岡田昭雄

日頃は、当期成同盟会にご理解とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

前会長の島田豊万様をはじめ歴代会長並びに関係者の皆様には、長きに渡り沢山川の点検や県への陳情など、沢山川の水害対策にご尽力いただきましたが、この度、私が会長に就任することになりました。皆様方の以前からの熱心な活動に対し、敬意を表

するものであります。さて、近年ゲリラ的集中豪雨や台風による甚大な被害が各地で頻発しており、その対策が大きな課題となっております。記憶に新しいところでありますと、8月には、あまり上陸しないとされている北海道や東北地方で、立て続けに台風が上陸し各所で堤防が決壊しました。また、昨年9月には茨城県常総市の鬼怒川の堤防が、延長200mに渡って決壊するという大きな災害がありました。これは、この時

発生していた17号・18号台風の二つが重なり、上昇気流が発生して大量の積乱雲がで、帯状的に雨を降らせたことが原因だと言われています。これらの災害を目的の当たりにして、改めて水害対策の促進が大変重要なことと再認識したところでございます。そこで、まずは引き続き漏水箇所対策を進めていただき、これらを早期に完成させ、沢山川の堤防を千曲川の堤防と同じ高さになるよう嵩上げ工事に着手していただくように県に要望してまいります。また、千曲川右岸流域の雨水排水が集中する沢山川・五十里川の負担を軽減するために、上流でショートカットし千曲川へ排水するよう東林坊川の整備を

進めてまいりました河川改修事業は、既に下流延長700m区間が完了しておりますが、更に上流狭窄部の解消に向け事業を開始したところであります。その先の河川区域内の河道掘削につきましては、引き続き千曲川河川事務所等へ要望してまいります。今後も、関係各位のご指導とご協力をいただき、沢山川堤防の嵩上げ等の早期実現に向けて、関係機関に要望・陳情を重ね、1日も早く地域住民の不安が解消されるよう努力してまいります。結びに、関係区民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。会長就任の挨拶といたします。

沢山川排水機場設置促進期成同盟会の

過去を振り返って

前会長 島田豊万

昭和56年、57年、58年と連続して土口、生萱、雨宮地区に台風水害による床上、床下浸水等大きな被害があり、我が家でも58年床下浸水を被った。

期成同盟会が発足した。その後、様々な対策が提案され、市、県、国に要望書を提出し現在に至っている。

これからの被害の防御が、地域の安全を守るため、県では平成2年沢山川にセミバック方式による工事が行われた。平成11年8月、生萱地区に、また水害が発生したので、平成14年に「沢山川排水機場設置促進

平成28年8月30日には、第15回「沢山川排水機場設置促進期成同盟会」の総会が雨宮会館で行われた。千曲市長が新会長に、事務局は、市建設課に移行され、副会長に土口、生萱、雨宮3区長が選任され、また、新役員改選も行われた。また、名称の一部「排水

「水害対策」になった。水害対策については、東林坊で流れをショートカット、また、沢山川の堆積土砂の浚渫等のため水位が下がります。しかし、千曲川に佐久・上田上流で、多量の雨が降ると、水位が上がり土口水門の逆流を防ぐため、水門を閉めることになれば、沢山川の水流は堤防から溢れ、住宅地や畑に流れ込み被害が拡大します。土口水門を閉めないために、沢山川堤防の嵩上げ、特殊堤防等完成して頂くことが急務と思

平成14年から、初代会長始め役員の皆様には、長期間色々ご苦勞をして頂きました。粘り強く今日まで、地域のためにご指導、ご協力をいただきましたことを心より厚く感謝を申し上げます。最後に、新会長、岡田市長外新役員の皆様のご活躍と地域皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。



退任のご挨拶

前会長 島田豊万



平成25年の総会において、北村哲一郎会長の後任として、引き続き引継いで来、役員皆様のご指導や

地域の皆様のご協力をいただき、無事に任務を全うし、退任できますことを心から厚くお礼申し上げます。

近年、他県では鬼怒川堤防の決壊等、ゲリラ的、局地的集中豪雨による甚大な被害は、忘れることは出来ません。日本中が何処で災害が起つても不思議ではないほど、集中豪雨が多発しています。

そこで、千曲建設事務所では、平成28年度も引き続き沢山川の浚渫、水漏れ箇所等の修復工事を予定しています。

名称が「沢山川水害対策」に一部変更いたしますので、水害に関することも含まれます。

先ず、沢山川堤防の高上げ、特殊堤防設置等により千曲川の堤防の高さになるよう、そして土口水門を閉めない状態にすることが急務と思っております。

これからも粘り強い運動が必要で、目標に向かって、新会長、岡田昭雄市長はじめ、新役員のご活躍と会員皆様のご発展とご活躍を祈念しつつ、退任のご挨拶とします。

平成27年度 事業報告及び決算報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

— 平成27年度事業報告 —

平成27年

- 6月4日 第14回定期総会
 - 1.平成26年度事業報告及び収支決算の承認について
 - 2.平成27年度事業計画及び収支予算案について
 - 3.負担金について
 - 4.役員新任について
- 6月11日 倉島清香市議会議員の沢山川に関する一般質問を傍聴する
- 8月11日 県への要望について建設課と話し合い
- 9月11日 千曲建設事務所整備課と要望内容について検討を行う
- 9月16日 市長への要望と県庁へ要望書を提出
- 10月2日 沢山川の漏水対策について千曲建設事務所整備課に説明を聞く
- 11月13日 視察研修会 飯山市桑名川の千曲川河川改修と浅川ダムの視察
- 12月16日 事務局会議
平成27年の事業の反省と今後について

平成28年

- 1月14日 沢山川の浚渫の場所について業者と話し合い
- 1月21日 午前中小川県議、午後荒井県議と同盟会の今後について話し合う
- 2月3日 小川県議・建設課立ち合いのもと市長と懇談会を行う
- 4月2日 事務局会議 規約改正について
- 4月14日 今後の事務局の在り方について建設課と話し合い
- 4月29日 平成27年度会計監査
- 4月29日 次年度の役員について相談役と話し合う
- 5月9日 事務局移行と人事について建設課と話し合う
- 5月18日 臨時総会
市長の会長就任に伴い、事務局移行、規約の改正、役員人事等の内容説明を行う
- 8月4日 事務局会議 定期総会の検討会議
- 8月30日 第15回定期総会

— 平成27年度収支決算書 —

収入合計 480,326円
 支出合計 323,873円
 差引残高 156,453円 (次年度へ繰越)

収入の部 (単位:円 △印…減)

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	増減	備考	
負担金	127,140	125,950	△1,190		
内訳	雨宮三区	83,300	82,110	△1,190	1,173戸×70円
	森三区	25,600	25,600	0	640戸×40円
	倉科全区	18,240	18,240	0	456戸×40円
補助金	160,000	160,000	0	千曲市より	
会費収入	45,000	39,000	△6,000	総会及び役員会会費	
雑収入	100	33	△67	貯金利息他	
繰越金	155,343	155,343	0		
合計	487,583	480,326	△7,257		

支出の部 (単位:円 △印…減)

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	増減	備考
総会・会議費	170,000	124,750	△45,250	
事務費	14,000	12,605	△1,395	印刷・切手 コピー代
資料・情報収集費	70,000	75,082	5,082	千曲川流域関連施設
大会運営費	30,000	0	△30,000	
広報・陳情活動費	130,000	106,136	△23,564	会報発行・陳情費用
予備費	73,583	5,000	△68,583	見舞・生花代
合計	487,583	323,873	△163,710	

意見書

関係帳簿及び証拠書類を詳細にわたり監査したところ
 正確であることを認めます。

平成28年4月29日

監事 安藤 洋 (印)
 監事 竹口 孝男 (印)

期成同盟会の名称を変更いたしました

平成2年、1時間雨量32ミ、毎秒120トの水量に耐える設計(50年に二度の雨量)で河川改修された沢山川ですが、平成11年8月の豪雨で雨宮保育園南側の生萱で水害が発生、この時の雨量は、時間雨量22ミ、一日雨量92ミで安全のはずでしたが浸水してしまいました。このときは、千曲川の水位が計画高水位を超えたので、逆流を防ぐために土口水門を閉めたままにしなければなりません。そのため、沢山川の土手は千曲川の土手より90cm低いので、たちまち溢れることとなります。これでは沢山川の水害を抑えることが出来ません。そこで、平成14年雨宮三地区の区長会が中心となり対策を検討、沢山川を再改修しないで水害を防ぐには、排水機場を造るのが良いと結論し、沢山川流域である森・倉科の区長さん方にもお願いしたところ、快く賛同を得て、その年の12月14日、土口区長の吉澤恒好さんが初代会長となり「沢山川排水機場設置促進期成同盟会」を起ち上げました。以来流域地区区民皆さんのご協力を得ながら千曲市、県議

会、県庁、国交省等要望・陳情を重ねてきました。市に於いては、大雨の時には五十里川の中流域にある東林坊川に分水し、五十里川への流下を出来るだけ少なくするための河川改修工事をして頂きました。また、県には沢山川の漏水箇所の補修工事、川底の土砂の撤去等、国の千曲川河川事務所には、千曲川河道内の整備、樹木の伐採等をして頂いています。が抜本的解決には至っていません。そこで、行政の立場からの意味合いも兼ね市長に会長をお願いしたところ快く引き受けていただきました。それに伴い排水機場の設置のみではなく、土手の嵩上げも視野に入れながら、あらゆる水害対策が採れるように「沢山川水害対策促進期成同盟会」と名称を変更いたしました。

これからも新会長の元、役員一同以前にも増して、一日も早く安心して住める日が来るように努力して参りますので、宜しくお願いたします。

事務局

県庁へ要望書を提出

平成27年9月16日、荒井武志県議・小川修一県議に帯同を願ひ、会長以下副会長・事務局員と市の小根澤建設課長(当時)、田島管理係長(当時)とともに要望・陳情してまいりました。

建設部長との対面でしたが、前もって過去の水害情報がほしいとのことでしたので、できる限りのものを取り揃えて提出して参りました。その後、建設部長自ら現地を見に来られたということなので、かなりの関心を持たれたと思います。これによりたとえ一歩でも進展してくれることを願います。

岡田市長と懇談

平成27年9月16日午前中に岡田市長に時間を頂き、正副会長、事務局員が懇談をさせていただきました。この席上、昭和56年から58年の水害の話や、現在の沢山川の水害に対する市の取り組み方、また、県に対しても様々な要望をしている事などを話してくれました。



岡田市長と懇談



県庁へ要望書提出

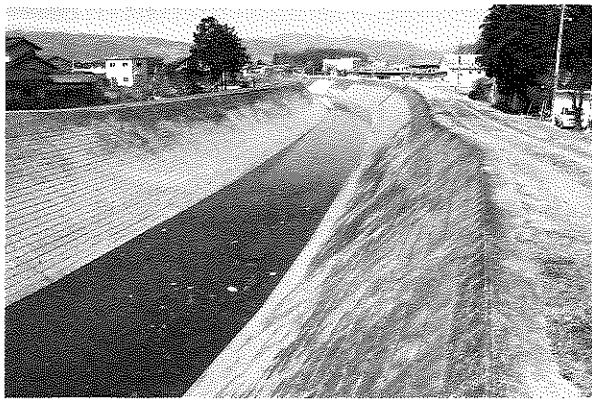
平成二十七年 度 沢山川の工事概況

一、沢山川の浚渫工と除草

浚渫は、長橋商会により大堰の樋門から生萱の生仁橋を挟んで下流に195m、撤去量1124m³、除草工は浚渫箇所を含め上流へ400m行いました

二、漏水対策工事

漏水工は、平成25年9月の台風18号による出水時の漏水箇所がまだ四か所あり、そのうちの一か所齋場橋の左岸60mを交友建設によりドレーン+堤体覆土工



浚渫工事完了

法で5月に完了しました。この工法は土手の外側法面を1m×1mの階段状に土砂を取り除き良質の土を覆土して、その下を通り抜けてきた水は外法面の最下部に設置したジャカゴからU字溝を通して五十里川に流す工法です。

残る三か所は

- ・ 雨宮保育園上流右岸（コンクリート張工法）
 - ・ 生仁橋上流左岸（良質土置換工法）
 - ・ 齋場橋右岸（良質土置換工法）
- で順次行つていきます。



齋場橋 漏水工事完了

東林坊川の改修工事情報

東林坊川は、五十里川の中流域（丸善食品付近）で分流し、千曲川に自然流下する延長2.4kmの準用河川です。改修して流下能力を拡大することにより、五十里川の中流域で雨水を千曲川にショートカットすることができ、一級河川沢山川への集中を、中・下流域での水害防止にも役立つものと考えています。

平成21年度から事業を着手し、昨年度をもちまして下流域全長700mの河川改修工事が完了しました。

また、昨年度より整備済み区域から上流狭あい箇所の整備計画を策定し、一部工事を実施しております。

全体概況(下流域)

全体延長 700m

総工事費 3.2億円

視察研修報告

平成27年11月13日、飯山市桑名川の千曲川河川改修と浅川ダムを視察してきました。

桑名川は、昭和57、58年の洪水で家屋や耕作地が浸水し大きな被害を受けたところです。ここは千曲川の川幅が極端に狭く増水するとたちまち水位が上がってしまうところです。このため県では平成4年度より3期に分けて築堤工、樋門工を行ってきました。私たちが視察したときは3期工事がほぼ完了となっていました。この工事は築堤工延長2,700メートル、樋門5基の工事をする事により、千曲川の流量毎秒6,500トンに対応できるようになりました。

浅川ダムは、表紙の写真を見ても分かるように、ダムの本体工事が終わり、堤体の上流で地滑り対策工が行われていました。28年度内には整備事業全体が完了の予定です。このダムは、ダム高53メートル、堤頂長165メートルで総貯水量は110万立方メートルです。堤体中央の最下部に高さ1.45メートル、幅1.3メートルの洪水吐き

口を設けてあり洪水時にはこの穴から毎秒30トンの水が下流に排出されます。また、10月には湛水試験を始め11月から12月に満水になったら24時間維持した後、下部の穴から放出し元に戻します。



浅川ダム上にて 視察研修



桑名川 視察研修

平成28年度 沢山川水害対策促進期成同盟会役員名簿 (敬称略)

顧問 荒井 武志 (県議会議員)
 顧問 小川 修一 (県議会議員)
 常任顧問 原 利夫 (市議会議員)
 常任相談役 林 愛一郎 (市議会議員)
 常任相談役 倉島 清香 (市議会議員)
 常任相談役 齋藤 正徳 (市議会議員)
 参与 和田 英幸 (市議会議員)

会長 岡田 昭雄 (千曲市長)
 副会長 島田 徳一 (生萱区長)
 副会長 半田 仁志 (雨宮区長)
 副会長 山崎 俊男 (土口区長)

理事 望月 保 (森東区長)
 理事 島田 忠明 (森西区長)
 理事 中村 昇 (倉科区長)
 理事 笠井 定光 (森東代理区長)
 理事 久保 勝義 (森西代理区長)
 理事 中村 良幸 (倉科代理区長)
 理事 高野 敬道 (生萱代理区長)
 理事 若林 俊昭 (雨宮代理区長)
 理事 北村 俊治 (土口代理区長)
 理事 島田 豊万 (前会長)
 理事 鎌田 宗俊 (前副会長)
 理事 金見 清夫 (前副会長)
 理事 鶴澤 忠夫 (前副会長)
 理事 平林 清光 (前事務局長)
 理事 小根 澤英 (建設部長)

監事 林部 尚 (前会計)
 監事 小林 洋一 (前副事務局長)

事務局 千曲市建設部建設課事業推進係内

編集後記

近年の降雨量は、沢山川が河川改修された平成2年頃に比べると、比較にならないほどの雨量となつています。最近では昨年の常総市の鬼怒川堤防決壊、また、直近では岩手県岩泉町・北海道十勝地方、その他あちこちで大きな水害が発生しています。当地区は幸いにも難を逃れています。ですが、いつ大雨に見舞われるかわかりません。当同盟会も新役員による活動が始まりましたので、一日でも早く水害のない日がくることを願いつつ筆を置きます。